大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2024年 第5週（1月29日～2月4日）

今週のコメント

～インフルエンザ～ 咳エチケット、手洗い、マスクの着用が重要

定点把握感染症

「インフルエンザ 警報レベルに迫る」

第5週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,779例であり、前週比5.3%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、咽頭結膜熱、流行性角結膜炎の順で、定点あたり報告数はそれぞれ8.31、4.13、0.56、0.39、0.27である。

感染性胃腸炎は前週比6%増の1,638例で、南河内15.75、泉州9.43、三島8.88、中河内8.85、大阪市西部8.60であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7%増の814例で、泉州5.48、南河内5.44、大阪市南部5.39である。

手足口病は8%増の110例で、中河内1.10、泉州0.90、大阪市南部0.78であった。

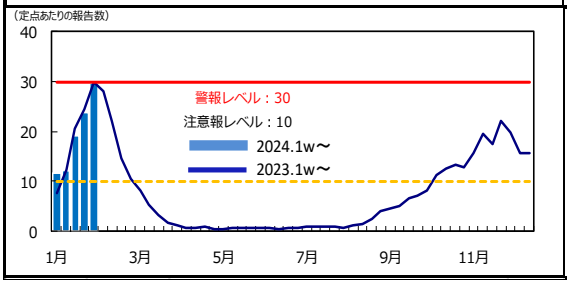
咽頭結膜熱は24%減の76例で、南河内1.13、泉州・大阪市北部0.43である。

流行性角結膜炎は100%増の14例で、泉州0.83、南河内0.75、大阪市西部0.50であった。

インフルエンザは24%増の9,069例で、定点あたり報告数は29.64と4週連続して増加している。南河内44.25、泉州38.00、大阪市北部35.25、堺市34.00、大阪市西部33.33であった。6ブロックは警報レベル30を超えている。1月のB型の割合は25%で、12月より20%増えている。

新型コロナウイルス感染症は5%増の2,863例で、定点あたり報告数は9.36と12週連続して増加している。南河内13.54、北河内11.15、堺市10.59、中河内9.35、大阪市南部9.22であった。2024年第1週以降、19歳以下の年代層の割合が増えている。

インフルエンザ



新型コロナウイルス感染症

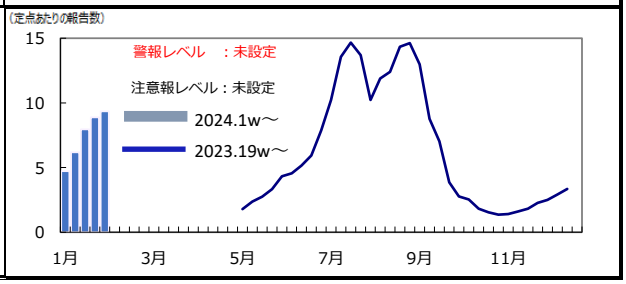


表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2024年 第5週1月29日～2月4日）

第5週の順位	第4週の順位	感染症	2024年第5週の定点あたり報告数	前週比増減	2023年第5週の定点あたり報告数	2024年第5週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	8.31	6%増	6.88	１歳_13%
2	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.13	7%増	0.37	６歳,10-14歳_13%
3	3	手足口病	0.56	8%増	0.07	１歳_45%
4	4	咽頭結膜熱	0.39	24%減	0.13	１歳_22%
5	8	流行性角結膜炎	0.27	100%増	0.19	20歳以上_50%
参考		インフルエンザ（インフルエンザ定点報告疾患）	29.64	24%増	29.91	10-14歳_32%
参考		新型コロナウイルス感染症（COVID-19定点報告疾患）	9.36	5%増	-	10-19歳_21%

新型コロナウイルス感染症は、定点種別が異なるため、参考として記載しています。

詳細はリンク先の『令和2年11月2日以降(大阪府)』の情報をご覧ください。

詳細はリンク先の『新型コロナウイルス感染症(大阪府感染症情報センター)』の情報をご覧ください。

突発性発しんについては、(1)季節変動はないこと、(2)毎週の定点あたり報告数は一定していること、(3)年次による差異もほとんどないことから、本文には詳細に記載していません。

2023/24年シーズンのインフルエンザ集計は第36週から開始しました。

第5週のコメント

～ デング熱 ～ 海外に渡航される方は、蚊に刺されないように、服装に注意し、虫よけ剤を使うなどしましょう

全数把握感染症

デング熱

デング熱は、ネッタイシマカやヒトスジシマカなどの蚊によって媒介されるデングウイルスの感染症である。比較的軽症型のデング熱と、重症型のデング出血熱がある。熱帯・亜熱帯地域、特に東南アジア、南アジア、中南米、カリブ海諸国、アフリカで見られ、全世界で年間約1 億人がデング熱を発症する。海外渡航で感染し国内で発症する例（輸入症例）が増加しつつあり、2014年の夏季には輸入症例により持ち込まれたと考えられるウイルスにより、150例以上の国内流行が発生した。感染すると、3～7日程度の潜伏期間の後、38～40℃の急激な発熱を発症し、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛が出現する。2～7日で解熱し、解熱とともに発疹が現れることがある。

デング熱について（厚生労働省）
デング熱とは(国立感染症研究所)

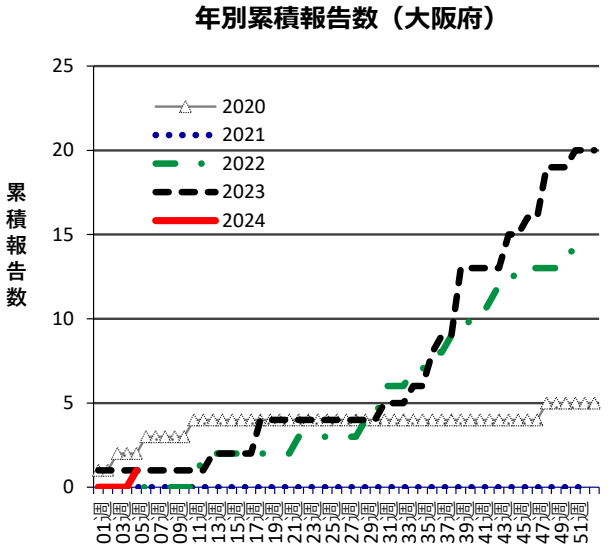


表２．大阪府全数報告数（2024年 第5週1月29日～2月4日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
（報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。）

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**1**								1	12
４類感染症	**Ａ型肝炎**	**1**						1			1
	デング熱	**1**								1	1
	レジオネラ症（肺炎型）	**1**								1	11
５類感染症	**アメーバ赤痢**	**1**				1					3
	ウイルス性肝炎	**1**					1				3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	**2**					1			1	16
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	**1**							1		8
	後天性免疫不全症候群	**1**	1								9
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	**2**						1		1	7
	侵襲性肺炎球菌感染症	**4**			1					3	31
	梅毒	**10**			1			1	1	7	105
	百日咳	**1**							1		4
結核 （2023年12月分）	**結核　新登録患者数：128名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　41名） （府内累積報告数　1,159名、内　肺・喀痰塗抹陽性　401名）										

（2024年2月6日　集計分）